

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	民間保育所振興補助事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	保健福祉部	課等名	子育て支援課		包含する細々目	1	3	2	5	14	1	
政策	3 健やかに安心して暮らせるまちづくり											
施策	37 子どもを産み育てやすい環境の充実											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	不要	関連計画		条例等				
		事業期間	年度～	年度								

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値				
	・民間保育所の職員及び入所児童。	民間保育所の職員数(人)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする	
				213			
		民間保育所の入所児童数(人)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度			
			1438				
意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	・民間保育所職員の労働条件の向上。 ・入所児童の処遇向上。 ・保育士の資質向上。	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)				
		民間保育所の職員の処遇/公立保育所の職員の処遇(%)	18目標	80	最終目標	90	21
			18実績		19目標	80	↑
			23目標		23実績		最終目標達成年度
		民間保育所の入所児童の処遇/公立保育所の入所児童の処遇(%)	18目標	100	最終目標	100	17
			18実績		19目標	100	↑
	23目標		23実績		最終目標達成年度		

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	・この事業は、民間保育所に勤務する職員と入所児童の処遇向上を目的とした市単事業で、補助金を飯田市私立保育園連盟へ交付し、連盟が保育所の置かれている現状に合わせた配分を決定して職員の人件費や児童の保育経費等に充てている。 ・公立保育所と民間保育所では、職員の雇用条件やその処遇に格差があるため、補助金を交付して職員の人件費等を補うことでその差を縮め、安心して就労することのできる職場環境や労働条件の向上を図ることによる保育の質の向上を目指している。また、民間保育所の保育士で構成される保育部会の活動費にも活用されている。 ・なお、保育料事務取扱事務補助金については、私立保育園での収納事務を行なうことによる保護者の利便性の向上と収納率の向上を目的としている。	・振興補助金の交付(前期、後期の2回)。 施設補助分 2,800千円 職員処遇向上分 14,808千円 児童処遇向上分 6,149千円 保育部会活動分 902千円 ・保育料収納事務取扱事務費の交付。	民間保育所の職員および児童の処遇/公立保育所の職員および児童の処遇(%)	90
		・振興補助金の交付(前期、後期の2回)。 施設補助分 2,800千円 職員処遇向上分 14,808千円 児童処遇向上分 6,149千円 保育部会活動分 903千円 ・保育料収納事務取扱事務費の交付。	民間保育所の職員および児童の処遇/公立保育所の職員および児童の処遇(%)	90

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
	一般財源	24,832	25,329
	事業費計(A)	24,832	25,329
人件費	正規職員所要時間	18年度 40	19年度
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	143	0
	トータルコストA+B	24,975	25,329

特定財源内訳や補足事項	千代・千栄保育園分が増加
-------------	--------------

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。


目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	産み育てやすい社会環境が整う。	子どもを産みやすい社会環境であると感じている対象者の割合	現状値	95	19実績	95
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	
	子どもを育てやすい社会環境であると感じている対象者の割合		現状値		19実績	
			20実績		21実績	
22実績				23目標		

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
・民間保育所と公立保育所の職員の労働条件の格差を是正し、保育の質の向上や児童の処遇を向上させることで、飯田市の保育水準の均衡化を図り、民間保育所の経営安定を行なうために開始された。	・開始時期と比べると、公私の保育水準の差は無くなってきたものの、民間保育所の経営状況は厳しく、そこで働く職員の処遇もあまり改善されていない。	・特になし。

【See】18年度の振り返り

目的妥当性評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) 結びつく (その理由)	有効性評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) 余地がある (その理由)
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) 影響あり (その理由)
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		他に類似事業はありますか？また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？	(評価) 類似事業なし (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)	(評価) 必要ある (その理由)		効率性評価	成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？
			公平性評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) 妥当である (受益者とその理由)

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	現状どおり継続して実施していく。 
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？	

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	